

2022 年度事業報告

【1. 概況】

2022 年度は、新たなコロナ変異株の BA.5 による爆発的な感染拡大など 3 年目となるコロナ禍の中で、生きづらさを抱えた子ども達やそのご家庭も更に厳しい環境が続きました。財団としては、これまでの寄付金支援に加え、2 年目を迎えたお米の現物支援を行う「お米つなぐプロジェクト」、「米米プロジェクト」に加え、新たに「衣料支援プロジェクト」、「おむつ支援プロジェクト」も開始しました。

特に、困難度の高いご家庭の子ども達にとって、楽しいはずの夏休みと冬休みは、給食がないために逆に辛い季節になります。「米米プロジェクト」ではそうしたご家庭に、夏休み期間に 77 世帯に 790Kg、冬休み期間に 61 世帯に 610Kg のお米を直接お送りしました。

また、2022 年度は、これまでの支援 3 団体に加え、新規の寄付金支援先として、神戸市の「みそら子ども食堂」様、「ひらのっこ子ども食堂」様が加わりました。また、2023 年 1 月からは福島県の「ビーンズふくしま アウトリーチ事業部」様も加わることになり、支援の輪が拡大する見込みです。

財団活動が実質的にスタートしたこの 3 年間はコロナ禍の厳しい環境でしたが、皆様の暖かいご支援とご尽力により、支援活動も現場の声に基づき、少しずつ広がり始めました。

この支援活動が 2023 年度も継続できます事を改めて厚く御礼を申し上げます。

【2. 新規支援先の選定と新理事選任】

1. 2022 度は新規の支援先として、(1)「みそら子ども食堂」様(神戸市中央区)と(2)児童家庭支援センター・おるおるステーション「ひらのっこ子ども食堂」(神戸市)の 2 団体を承認致しました。

(1) 「みそら子ども食堂」様は KOBE 地域貢献応援プラットフォーム様からのご紹介で、ご夫婦で活動される個人運営で、主な活動は次の通りです。

・子ども食堂 月 2 回/フードパントリー 月 1 回/学習支援 月 2 回

その他、週 1 の駄菓子屋さんや、ボランティアのヨガ教室・ロコモ体操などを開催し、地域の居場所ステーションを目指して活動されています。

(2)児童家庭支援センター・おるおるステーション「ひらのっこ子ども食堂」(神戸市)も、「KOBE 地域貢献応援プラットフォーム」様からご紹介いただき、次の活動を行ってられます。

・お弁当配食+子ども食堂 週 3 回/フードパントリー 週 2 回/子ども居場所支援/

・子ども個別支援等。

2. 2022 年 7 月、新たに佐藤俊之様(オックス株式会社代表取締役、新潟県三条市)を理事に選任致しました。

【3. 2023 年度の新支援先の決定】

2023 年1月から福島県の「特定非営利活動法人ビーンズふくしま」の「アウトリーチ事業」(山下仁子事業長)様について、毎月2万5千円(まずは半年間)を支援することを決定しました。

同事業は子ども達への学習支援、レクレーション活動のほか、子ども食堂の開催や子ども居場所支援等の「集合型支援」に取り組んでおられます。更に、生活困窮者家庭の子ども達の自立支援、つまり「自分で生きて行く力を身につける事」を支援の主眼にした「訪問型支援」も行っておられます。小学生から19歳までの120人程度を支援されています。

【4. 2022 年度の寄付金報告】

2022 年度の寄付金額は 16,862,590 円(内、賛助会費収入 1,132,730 円)。

中でも、匿名の方2名(700万円と500万円)、佐渡様、木下様、佐藤俊之様から各100万円の高額のご寄付を頂きました。当初の寄付金目標300万円を大幅に上回ることができました。

この中から、支援先4団体への直接の寄付金や個人のご家庭に直接お米等をお送りした経費等を含めた寄付金額は 3,275,567 円。財団の運営経費は 359,545 円。当期純利益は 13,227,661 円となり、繰越現預金残高は 25,974,941 円となりました。

【5. 寄付金による主な支援活動】

1. 「フードパントリー支援」等

- ・東京都葛飾区の NPO 法人「レインボーリボン」様宛 ¥30,000/月
- ・神戸市の NPO 法人「WACCA」様宛 ¥30,000/月

2. 「拠点活動費支援」

- ・東京都葛飾区の「ハーフタイム」様宛 ¥25,000/月

3. 「衣類支援・おむつ支援」(堀部さんのご寄付で実現しました)

- ・「WACCA」様宛に、「フリーヘルプ」様での衣類お買い物券 ¥36,000
- ・「レインボーリボン」様の5世帯へおむつ直送 ¥110,339

【6. お米の現物支給による支援活動】

1. 「お米つなぐプロジェクト」

このプロジェクトも1年間無事に終了しましたが、2022年11月から2023年度の「お米つなぐプロジェクト」が始まりました(2023年10月まで)。

引き続き、次の3団体に対して、毎月30Kgのお米を支援して参ります

- ・「レインボーリボン」様宛……30Kg/月
- ・「WACCA」様宛……30Kg/月
- ・神戸市の「みそら子ども食堂」様宛……30Kg/月

また、本年は、神戸市の児童家庭支援センター「おるおるステーション・ひらのっこ子ども食堂」様に対し、30Kg/月(2022年12月まで)をお送りしました。

2. 「お米つなぐプロジェクト」の新米フェア

「お米つなぐプロジェクト」の新米フェアとして、熊本県小国町の北川様、松丸様の今年の新米を11月に、次の4団体にお送りしました。これは、満月会の山本精一様から、合計150キロ分をご寄付いただきましたものをお送りしたものです。

- ・「レインボーリボン」様宛……60Kg 八郎米
- ・「ハーフタイム」様宛……30Kg 八郎米
- ・「WACCA」様宛……60Kg 八郎米
- ・「みそら子ども食堂」様……90Kg 松丸様の新米

3. 「米米プロジェクト 2022」の実施

昨年度の実績を踏まえ、本年度も「米米プロジェクト 2022」として予算を組み、(1)「定期支援」50世帯、(2)必要に応じて随時実施する「緊急支援」、(3)現在の支援団体として指定されていない団体やそれに繋がるご家庭への「スポット支援」—にわけて各ご家庭に毎回10Kgのお米をお届けすることにしました。実施状況は次の通りです。

- (1)7月から8月の子どもの夏休みに合わせて、下記の5団体77世帯のご家庭にお米10kg(内、子ども6人の2世帯には20kg)の合計790Kgのお米をお届けしました。

お届け先は次の5団体です。

「レインボーリボン」様・「ハーフタイム」様
「WACCA」様・「みそら子ども食堂」様・「おるおるステーション」様

- (2)12月下旬の冬休みは、次の4団体61世帯のご家庭に、合計610Kgのお米をお届けしました。お届け先は次の4団体です。

「レインボーリボン」様・「ハーフタイム」様
「WACCA」様・「みそら子ども食堂」様

【ご参考. 2022年の主要な支援活動】

≪2月～3月≫

- (1)2月27日、「米米プロジェクト」の一環として、今日の食べるお米もない2世帯に「緊急支援」としてお米10Kgを送りました。

(2)2月19日、NPO法人「レインボーリボン」様訪問

コロナ禍で支援者も人数が制限されている中で、当日はフードパントリーの日にあたる事から、事務局員の谷口が支援に行きました。ただ、オミクロン株の感染防止のため、お手伝いが出来ず、食糧を受け取りに来た子ども達に配布するだけとなりました。

(3) 3月2日、NPO 法人「WACCA」様の新拠点訪問

「with コロナ KOBE 応援プラットフォーム」の盛島さんと事務局員の谷口が昨年 11 月に移転した神戸市の新拠点を訪問しました。商店街に面した場所は、以前よりも広いスペースで、天井も高く、換気に気をつけながら活動を継続されていました。月 2 回のフードパントリーは基本 10 世帯限定だそうです。スポットの食糧支援を含めると 40 世帯を超えるそうです。

(4) 3月4日、NPO 法人「ハーフタイム」様新拠点訪問

岩鬼理事、吉松理事、林事務局員（ZOOM で参加）、谷口事務局員の4名で、「ハーフタイム」様の金町新拠点を訪問し、石原理事長、三枝事務局長に最近の活動状況について、お話をお伺いしました。新拠点は東京都葛飾区社会福祉協議会の地域振興事業の一環として一戸建ての家を借り受けたもので、ようやくリフォームが終わり、この 4 月から金町拠点を移して活動を開始される予定です。

《4月～6月》

(1) 4月27日、「WACCA」様訪問

当日は、子供たちへの「衣類支援」のヒアリングを行い、これからの進め方等について打ち合わせを行いました。

(2) 5月6日、「WACCA」様と「フリーヘルプ」様訪問

今回も「衣類支援」について打ち合わせを行い、ご意見等をお伺いしました。

(3) 5月7日、大阪の阿部様（満月 8 期）から「WACCA」様へ 60 キロのお米支援を頂きました。

(4) 5月13日、東京都葛飾区の「レインボーリボン」様を訪問

当日は、衣類支援のご相談ならびに春休みお弁当プロジェクトについてのヒアリングを行いました。

(5) 5月19日と6月7日、神戸市の「みそら子ども食堂」様を訪問

新規支援団体として、「KOBE 地域貢献応援プラットフォーム」様からのご紹介で、「みそら子ども食堂」様（神戸市中央区）をヒアリングのために訪問致しました。

財団からは、6 月から「米米プロジェクト」のスポット支援で、毎月 20Kg お米をお届けすることになりました。

(6) 6月7日、神戸市の「WACCA」様を「衣類支援」のミーティングのため訪問

子ども達がなにが欲しいかのヒアリングをする中で、自由に衣類を選びたいとの要望が多かったため、地元の衣類支援団体「フリーヘルプ」様との協力で、「衣類お買い物券」（1 枚

1,000円分)を50枚、「WACCA」様に委託することになりました。

1世帯あたり、「子どもの人数+1枚(お母さん分)」をお渡し、この「衣類お買物券」で「フリーヘルプ」様の衣類の中から、自由に自分の好きな服を選べるようになりました。

(7)6月中、東京葛飾区の「レインボーリボン」様へのおむつ支援を決定

「レインボーリボン」様でも衣類支援の一環として、6月～12月、毎月おむつを5世帯の支援先のご家庭に、直接お送りすることになりました。

(8)6月15日、滋賀県守山市 林農園様を訪問

7月実施の「米米プロジェクト」のお米は、滋賀県守山市 林農園(代表取締役 林重樹)様の近江米「秋の詩」をお届けすることになり、実際の林農園様の水田を視察に事務局員の谷口と堀部が訪問しました。林農園様は土づくりにとことんこだわり、低農薬有機農法で作られた美味しく安全なお米です。林様の思いとともに、61世帯の皆様にお届けいたします。

(9)6月17日～20日、熊本県小国町の支援農家のお手伝い

昨年同様「お米をつなぐプロジェクト」で新米をご提供いただいている阿蘇の小国町の松丸様、北川様のコメ作り支援のための農作業を行いました。今回も神戸市の盛島様と事務局員の谷口が参加しました。更に、2023年度分契約栽培も併せてお願いしてきました。

(10)6月28日、「KOBE 地域貢献応援プラットフォーム」様の交流会出席

事務局員の谷口が神戸市の「KOBE 地域貢献応援プラットフォーム」様の交流会に日本善意財団の代表として出席して、日本善意財団の活動状況等の発表を行いました。

≪7月≫

(1)7月15日、児童家庭支援センター・おるおるステーション「ひらのっこ子ども食堂」様を訪問

新規支援団体として、「KOBE 地域貢献応援プラットフォーム」様からご紹介先で、

①「米米プロジェクト」として、毎月お米20キロのお届け

②「米米プロジェクト」の緊急スポット支援として、8月上旬、15世帯のご自宅に直接お米10Kgずつをお届けすることになりました。

(2)7月15日、「みそら子ども食堂」様のお弁当配布お手伝い

(3)7月21日、「米米プロジェクト」お米を61世帯へ発送

東京都葛飾区の「レインボーリボン」様の支援先30世帯、同葛飾区の「ハーフタイム」様の支援先1世帯、神戸市の「WACCA」様の支援先20世帯、同市の「みそら子ども食堂」様の支援先10世帯—の合計61世帯に対して、それぞれお米10Kgをお送りしました。

その後、最終的には、子どもの給食のない7～8月の夏休み期間中に、困難度の高い子どものご家庭 77 世帯 に直接お米 790Kg を送りました。

《8月～9月》

(1)8月5日、新規支援先である神戸市の児童家庭支援センター・おるおるステーション

「ひらのっこ子ども食堂」様を訪問

事務局の谷口がお米支援決定のお知らせ、支援内容のご説明とヒアリングに伺ってきました。KOBE 応援地域貢献プラットフォームの盛島様、高橋様に同行していただきました。

(2)8月6日～8日、新規支援先である神戸市の「みそら子ども食堂」様のフードパントリー訪問

フードパントリーの対象世帯が40世帯と多かったため、2日間に分けて、事務局の谷口が訪問。特に夕方の16時～16時30分の間に、集中してお渡ししました。この時に、財団からのお米も、一部お渡し致しました。8日は「KOBE 地域貢献応援プラットフォーム」の高橋様が、お手伝いに来てくださいました。

(3)8月20日、NPO法人「レインボーボン」様のフードパントリーお手伝い

事務局の谷口が訪問し、フードパントリーのお手伝いをさせていただきました。当日は31世帯86人(子ども人数54名)の来場で、谷口はお米のお渡し担当として、一人一人にお米をお渡しさせていただきました。

(4)9月4日(日)、神戸市の「みそら子ども食堂」様の秋祭り参加

学校のイベントの多くが中止になり、子どもたちが集って楽しむ場が、とても少なくなる中、子供たちに楽しんでもらおうと、初めての試みで秋祭りを開催されました。当日は、綿菓子、かき氷、ピザ、ポテトなどの食べ物や、スーパーボールすくい、射的、くじ引きなど盛りだくさんの遊びもあり、たくさんのお子どもたちでにぎわっていました。

(5)11月16日、「みそらこども食堂」のフードパントリー訪問

当日は事務局員の谷口がお手伝いに行きました。同食堂を運営されています旭様ご夫妻、KOBE 地域貢献応援プラットフォームの盛島様とともに、51世帯対象のうち、30世帯のご家庭に松丸様の新米や食料等をお渡ししました。

(6)11月20日、東京お台場「デザインフェスタ」訪問

支援先の「ハーフタイム」様の子どもたちが出展した東京お台場の「デザインフェスタ」の会場を佐藤理事が訪問致しました。今回、初めて子どもたちが自立して、自ら各種アクセサリーなどを製作して販売するイベントに参加したもので、「ハーフタイム」の三枝理事長様から、財団からの応援に対してお礼を頂きました。

(7)12月2日、NPO法人「レインボーリボン」様の活動拠点を訪問

岩鬼理事、佐藤理事、吉松理事、事務局の堀部さんらが訪問して、現状をヒアリングさせて頂きました。緒方理事長様によれば、困窮世帯が増加しているようで、お米支援を求めて登録される方が増大しているとの事でした。

以上